

## ジェトロ アース建コンら事例発表 外国人材活用セミナー

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)の国内事務所であるジェトロ宮崎貿易情報センターは19日、宮崎市内で「高度外国人材活用セミナー」を開催した。セミナーには県内の中堅・中小企業の経営者や人事担当者ら

50人余が参加。講演や事例発表を通じて、外国人労働者の採用に関する取り組みなどを学んだ。

セミナーでは、新輸出大国エキスパート(高度外国人材活用分野)の久保田学氏が「高度外国人材の採用・定着」と題し

て講演。国内における外国人労働者の現状や外国人採用に関するホームページの効果的な活用、10年後の労働環境を見据えた人材確保への取り組みとして、企業として今できることなどに関する説明があった。

続いて、建設人材育成等に取り組むアース建設コンサルタント株式会社の濱村哲之進代表取締役が「外国人技術者の人材活用」と題して事例を発表。同社は2年前にベトナム・ホーチミン市の大学と教育協力協定を締結し、現地でJCT(Japan Construction Technology)による教育事業を展開している。

濱村氏は、ベトナムの優秀な短大生や専門校の卒業生を対象に、日本語や日本文化・精神などに重点を置いた教育カリキュラムを実践していることを説明。このほか、ベトナムでの経験談や自社での外国人受け入れにより、社内全体のコミュニケーション能力が高まったといった好事例などを紹介した。

質疑応答を挟み、宮崎市観光商工部商工戦略局の永易貞幸局長が「宮崎

ーバングラデシゅモデルによる高度IT外国人材導入の取り組み」について、宮崎情報ビジネス医療専門学校の見玉淳郎校長が「宮崎総合学院における留学生の状況」について説明を行った。



【写真はセミナーの様相】